

書評

《日本医師会生涯教育シリーズ》

Electrocardiography A to Z

心電図のリズムと波を見極める

日本医師会【編・発行】

磯部光章, 奥村 謙【監修】

清水 渉, 村川裕二, 弓倉 整【編】

合屋雅彦, 山根禎一【編集協力】

評者

相澤義房

新潟大学名誉教授

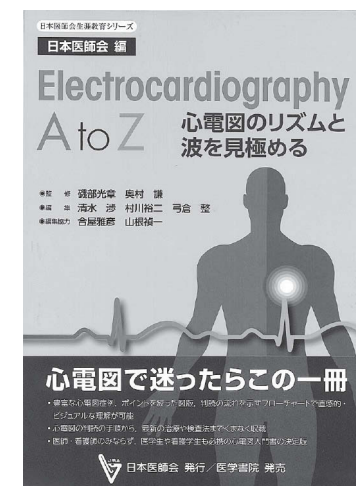
このたび、磯部光章先生、奥村謙先生の監修による、『Electrocardiography A to Z — 心電図のリズムと波を見極める』が刊行された。本書は日本医師会企画による第一線の臨床医に向けた循環器領域のシリーズ『心電図のABC』のいわば改訂版とも言えるものである。

「監修・編集のことば」にあるように、心電図や不整脈のわかりやすい入門書であると同時に、最近の不整脈治療の進歩が理解できるように企画されている。その結果、非専門医であっても、心電図と不整脈を自ら診断し、臨床的意義を再確認できるとともに、最新治療との関わりを確認することができる。また退屈になりがちな心電図の記録法や波形の成り立ちの記述も、カラーで見やすく、簡潔かつ十分に内容のある口絵としてまとめられている。このカラー口絵と第I章で、心電図の基本的知識が十分に身につく。第II章では心電図や不整脈診断における一般的な流れが示されている。このようなアプローチは、心電図や不整

脈診断や判読の基本で、その流れの先にはおのずと正しい診断があると言える。第III章以下、異常所見や不整脈があった場合、その病態やメカニズムはどうなっているのか、どのような治療がありかつ必要とされるかも述べられており、大変に実用的でもある。

一般に1冊の解説書を読み上げることは日常の臨床の中では大変な労力になる。しかし本書は、目下必要性が迫られている項目から始め、時間のある時には他の項目を読み進めるということで、ページは前後しても、本書の意図する診断から治療までの心電図と不整脈の基本と最新情報(AからZまで)が整理でき理解できるようになっていると思われる。

執筆陣はいずれも第一線で活躍中の、脂の乗りきった専門医である。といって、自身の得意分野に関する心電図や不整脈の高度の知識や技量についての記述は抑制されて、どこを読んでも基本と最新情報まできちんと述べられている。随所に挿入されている「ひとくちMEMO」も、最新の知識の整



理に効果的である。

あまたの心電図の解説書が刊行されているが、リズムを見極め、波形を見極め、かつ治療方針を確かにするという点から、本書は必要かつ十分な条件を満たしている。日常臨床に役立つ書として確信をもってお勧めできる。

B5・頁 304 2015 年 11 月
定価：本体 5,500 円＋税
[ISBN978-4-260-02150-0]
医学書院刊